



愛媛県西予市明間地区の災害現場を視察。砂防ダムの必要性の説明を受けました。



椎茸施設を視察。1メートル浸水し職員の救助が必要なほど、大きな被害を受けました。



宇和島市長から防除作業後にシャワーを浴びる要望など、現場の声を直接拝聴。

7月19日のメルマガより転載

6月末から7月上旬にかけて発生した西日本を中心とした豪雨において、亡くなられた方のご遺族の皆様へ衷心より哀悼の意を表しますとともに、現在も困難な状況にある被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

さいとう健は、7月17日に岡山県と広島県、翌18日には愛媛県を訪問し、農林水産大臣として被災地の視察を行いました。広島県での視察を全て終えたあと、予定外のことでしたが、被災された80代と思われる農業者の方と飛び込みで話をしました。

泥で埋まった農地の傍らにたたずんでおられましたので、話しかけますと、不満を口にするわけでもなく、怒るわけでもなく、淡々と窮状を話されます。明らかに御自身で作ったと思われるイノシシを防ぐ柵も破壊され、もはやイノシシの侵入を防ぐことはできない。

農地も泥に埋まり、知り合いの役所の人に相談すると、復旧に1,000万円かかる、国の支援が9割出るが、100万円は自分で出さなくてはならない、でも、そのお金は払えないと。

私(さいとう健)は、お金のために農業をやっているわけではないでしょ、お父さん、続けましょうよと励ましました。が、私の心の中には無力感と、えも言えぬ悲しみが広がりました。

今回の大雨の被害に対しまして、農林水産省は、まず、ペットボトル・おにぎりなどの食料を被災地に届けるという仕事に取り組み、食品メーカー等に御協力いただき、7月25日までに100万点を超える支援をいたしました。

16日には、まだ被害状況がはっきりしていない段階であるにもかかわらず、先手を打つ形で、農林水産省の災害対策をまとめました。この対策は、今年の九州北部豪雨の際の対策を参考に練り上げたもので、かなり広範にわたるものになっておりますが、今後、被害状況の把握が進むにつれ、追加の対策も検討していきたいと考えています。

大事なことは、若い人をはじめとして意欲を持って農林水産省に取り組んでいる方々が、よし、もう一度頑張ろうという気持ちになってもらえるような対策にしなければならないということです。

ため池による被害対策も農林水産省の仕事です。民家や公共施設に影響が及ぶようなため池については、1ヶ月で全て緊急点検をすることとしました。その上で、全国に20万存在するため池の安全対策についても早急にとりまとめます。

今回の視察を通じて、災害への対処は常に時間との勝負であることを改めて痛感しました。職員とともに、やるべきことを全てやり切りたい、その決意を新たに視察となりました。



さいとう健 特集

発行所:自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所:〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話:03-3581-6211(代表) ホームページ:http://www.jimin.jp/

《ミニプロフィール》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に赴任)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣を経て、現在、農林水産大臣として農協改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味]ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物]ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
[尊敬する人物]高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎



農林水産大臣 活動特集号

平成30年8月発行

今回の「自由民主」は、さいとう健農林水産大臣に聞きました。

Q. 農林水産大臣のさいとう健さんは、大臣に就任される前の2年間は農林水産副大臣として、またその前の2年間は自民党農林部会長として、トータル5年間、農林水産の大改革に取り組んでこられました。この5年間でどう総括されますか？

A (さいとう健). 一言で言えば、日本の農林水産業は、大きな曲がり角にあり、待ったなしの改革が必要です。私は、大きな危機感をもっています。

今後、日本の人口の減少ペースは加速し、10年後には年間70万人程度の減少ペースに、15年後には年間80万人程度の減少ペースに達します。そして、今の大人の人たちが生きている間はこの傾向は変わらない。

人口は人の口と書くだけに、食べて頂くものを生産する農業にとっては大問題です。ここをどう乗り越えるか。

一方、国外に目を向ければ大きなチャンスが広がっています。世界では人口が激増し、お金持ちも増え、日本食はブームで海外の日本食レストラン数は、4年間で倍増しました。このチャンスをどう掴むか。

今、官民一体で農林水産物の輸出促進に取り組んでいます。輸出額は5年連続で増加し、昨年8,071億円まで来ました。個別品目でも、昨年1年間で、牛肉は4割、いちごは6割、緑茶は25%輸出が増加しました。

輸出だけではなく、私が自民党農林部会長に就任した5年前から、40年ぶりの米の生産調整の見直し、60年ぶりの農協改革、50年ぶりの酪農改革、全農改革、流通改革など、農業者の皆さんが自らの創意工夫を発揮できる環境づくりに向け、何年かに1度という大きな改革を立て続けて実現してきました。

こうした改革を実行する過程においては、オーストラリアとの自由貿易協定、TPP、日EU経済連携協定と、農家の皆さんが不安になる通商問題での前進もありました。この面での万全な対策を講じることも累次にわたり実現してきました。

(中面に続く)



日中首脳会談の署名式にて日本の農業分野代表として署名(左から2席目)。



三浦市に完成した低温卸売場の竣工式にて、小泉進次郎副幹事長と一緒に鏡割り。



やってます。ここにワン!僕、さいとう健の飼い犬のさいとう犬だワン!僕から見たご主人様の活動をときどき吠えてるから、みんな登録よろしくワンU(>w<)U

メルマガ さいとう健

- ◆氏名・住所の登録不要。
- ◆国政課題、地元の話について、さいとう健の考えをお伝えします。
- ◆返信をすれば、匿名で意見を伝えられます。
- ◆ホームページからご登録いただけます。

あなたのご意見、お聞かせ下さい。

「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざを突き合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、企画してお呼びいただければ幸いです。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。

